## 2020年度 JICA中国 青年研修事業 実施予定案件に係る概要等

全案件共通目標:将来のリーダーとして当該分野の課題解決を担う青年層の知識と意識の向上 【用語等補足】

- ※本表中で記載される「ボランティア」とは、JICAが派遣する青年海外協力隊(JOCV)、シニア海外ボランティア(SV)をさします。
- ※カウンターパートとは、JICAが派遣する日本人専門家やボランティアと一緒に活動を行う現地のパートナーのことです。

	国・地域 実施言語 案件名 混成内訳	案件目標	案件概要	科目例	歳~35歳の青年層)	受入れ対象国の支援ニーズ等  1. 当該案件分野に関する現状の問題および課題等  2. ターゲットとする対象者等  3. 想定される成果等  4. 関連するスキーム(協力プログラム、ボランティア等)
1	職業訓練コース8名	関する基礎的な知識・技術の習得及び自国の課題解決 に向けた意識の向上	要、教育体制の現状を中心と した基本的な知識を学ぶ。 ・現場視察、関係者との意見	員、カリキュラム策	政官又は職業訓練機関の 職員・関連するJICA事業	1. ラオス政府は、成長する経済に適応する労働力の構築を目指し、職業訓練校の設置など工学系を始めとする専門人材の育成を重要な政策課題としている。また、日系企業を始めとする外資系企業からは十分な能力を有する現地労働者の人材確保に苦慮しているとの声が聞かれている。 2. 職業訓練に従事する行政官及び職業訓練機関職員 3. 我が国における職業訓練に関する知見を学ぶことにより、ニーズに合わせた職業訓練の提供への意識向上が図られる。 4. 高等・技術教育改善プログラム
2	語)地方行政コー ス12名	関する基礎的な技 術や制度に関する 知識の習得及び自 国の課題解決に向 けた意識の向上	な知識を学ぶ。・現場視	の地方分権化、地方自 治行政、職員の人材育 成、地方自治体と市民	政府又は地方政府の行政 官	3. イラクは中央政府の力が強く、より住民からの対応を求められる地方自治体の行政実施能力は中央のそれと比べると劣るものとなっている。復興から開発に向けて進むイラクにおいて、現場レベルでの行政サービス向上のためにもイラク政府による地方分権化及び地方の能力強化が重要であり、開発パートナー間での期待も非常に強くなっている。本研修を通じて日本における地方自治体の能力強化と住民へのサービス提供改善に向けての知見を習得することが見込まれ、意義は高い。
3	(カンボジア語) 地 方行政コース 17名	関する基礎的な技 術や制度に関する 知識の習得及び自 国の課題解決に向 けた意識の向上	な知識を学ぶ。 ・現場視	の地方分権化、地方自 治行政、職員の人材育 成、地方自治体と市民	政府又は地方政府の行政 官 ・関連するJICA事業のカ	1. 2014年に内務省の組織改編が行われ、行政総局内に人材育成を担当する研修局 (TD) が設置された。 2. TDやその他の部署における行政官 3. 参加者が研修を通して新しい知識や経験を得たことから参加者自身の仕事や所属部署において改善をもたらす。
4	(インドネシア語) 都市環境管理 コース 11名	環境管理に関する 基礎的な技術や制 度に関する知識の 習得及び自国の課 題解決に向けた意	政、環境対策の取組を中心と した基本的な知識を学ぶ	計画と環境保全、地方 自治体の環境政策と行 政、環境教育	境保全に従事する行政官 又は環境団体職員	1. インドネシアにおいて都市環境問題は、不十分な水供給、廃水、ごみ処理、エネルギー問題、緑地の不足、交通渋滞、騒音等が挙げられる。 2. 環境局関係者(以下の地域: Gresik、Sidoarjo Regency. Lamongan Regency. Motjokerto City および Mojokerto Regency East Java ) およびJICAプロジェクト関係者 3. 研修員は、都市環境管理についての日本の知識を習得する。